



日本共産党市会議員 かたやなぎ 進

# 片柳すすむ 市政報告

発行 日本共産党 川崎市議会議員団  
川崎区宮本町1番地 第2市庁舎7階  
TEL 200-3360 FAX 245-4140  
その他の連絡先 TEL 246-6823

## 教文閉館—市民の声を聞き新しい市民館を

### 「飲食できる交流室の確保を」「旧いさご会館2階ホールを市民利用施設に」と提案

#### 今月号の内容

##### ▼1面

- ①教育文化会館と労働会館の今後
- ②八丁畷駅に「JRは2階」と案内を
- ③市バス利便性の向上を
- ④住民要求/道路の陥没・市立病院街灯

##### ▼2面

- ①市民の声/地域にコミュニティの場を
- ②文教委員会/教育委員会議の公開を
- ③沖縄視察/LGBT・子どもの貧困
- ④コラム/地元の声にこたえる議員

川崎市議会第4回定例会（12月議会）が、昨年11月27日から12月20日までの会期で開かれました。片柳すすむ市議は12月18日に一般質問に立ち、①川崎区における市民館のあり方、②八丁畷駅の安全性と利便性、③市バスの利便性向上、④LGBT施策などについて取り上げました。

#### 一般質問 教育文化会館と労働会館の今後について



2022年3月末で「市民館機能」も終了予定の教育文化会館について、片柳市議は「教文跡地を富士見中学のグラウンドとすることを重く評価しながら、一方で市民からすれば『教文会館がなくなり労働会館に2つの会館が集約される』ということになる」と述べて、市民の声をしっかりと反映した「市民館」にするよう求めました。

会議室（6F定員300人）の機能を継続させることについて、現在の第4庁舎（旧いさご会館）2階のホール（定員286人）の市民利用を可能にするよう提案し、周辺環境の問題で文教施設が設置できないなら「労働会館別館」と位置づけて実現するよう求めました。また①労働会館「交流室」など飲食可能な施設の確保、②教文会館におかれている市民活動コーナーやPTA事務局などの移転先の確保なども要望しました。

#### 一般質問 八丁畷駅に「JRは2階」の案内表示を付けて

八丁畷駅のJR南武支線ホームには、1階の京急部分を通過しないといけない構造です。しかし京急ホームや改札には「JR」という案内表示がほとんどなく、多くの利用者が困惑しています。

片柳市議は「駅の外と構内に案内板を設置するよう鉄道業者に要望すべき」と質問しました。

まちづくり局長は「JRと京急



八丁畷駅の東口(左)にも西口(右)にも「JR」の標示がない

に要望したい」と答えました。また駅前踏切についても片柳市議は「朝には通学の小・中学生や通勤の方々など歩行者が歩道いっぱいになる」と指摘し、踏切前後の歩道を拡幅するよう質問。「継続的に京浜急行と協議を進める」との答えがありました。

#### 一般質問 東扇島内バス停・南部斎苑—市バス利便性の向上を

片柳市議は一般質問で東扇島内のバス停の改善について「派遣労働者が増え女性も増加している」と指摘、夕刻のバス停には女性が約7割をしめていることも確認しており、安全確保のためにも照明付きバス停の設置をすすめるよう求めました。

交通局長は「川崎駅方向のバス停13カ所に照明付き標識を設置している」「新たに川崎港コンテナターミナル入口停留所にソーラー式照明付き標識を設置予定」などと答えました。

片柳市議は、東扇島内の数十m離れている2つのバス停（運行会社が違うため）の統合、南部斎苑へのバス便充実を求めました。

#### ※「池上町」バス停に案内図設置

南部斎苑利用者に対し、市は「池上町」バス停（南部斎苑まで徒歩3分）の利用を



推奨していますが、バス停に斎苑までの道案内図がなく、道がわかりにくいとの声が出されています。片柳市議が指摘し、案内図がバス停に再掲示されました（写真）

#### 民現 川崎小学校横 道路の陥没を補修

川崎小学校（日進町）の横の道路が数カ所陥没し穴が開いている状態でした。近所の方から「通学路なので危険、何とかしてほしい」との声が寄せられ、道路公園センターに要望。応急処置の後、舗装が行われました。



#### 市立病院裏・街灯の修理

川崎市立川崎病院（新川通）裏の街灯が故障で暫く消えたままに。Tさんから「暗くて危ない。植木にいたずらをする人もいる。早く修理を」との要望が寄せられていました。病院の担当部署は「部品が届き次第修理するよう発注済み」とのことでしたが、このほど修理が完了しました。



照明が修理され明るくなりました





新日本婦人の会  
川崎南支部事務局長  
室井富美子さん

### 地域に市民の「コミュニティ」の場を

教育文化会館が閉館になり労働会館に市民館の機能を移すということですが、各区に4〜6カ所ほど「地区センター」のある横浜などと比べても、川崎市にはコミュニティの場所が少なく、とても利用するのに苦労しています。

地域にある老人いこいの家や子ども文化センターも老朽化してい

### 文教委員会

#### 教育委員会会議

#### ネット中継など情報公開を

1月18日の文教委員会で、教育委員会会議のインターネット中継を求める陳情が審査されました。この陳情は、市民から開示請求のあった教育委員会会議の録音テープを、「公文書」と定められ保管が義務づけられているにも関わらず同事務局が消去した問題にかかわって出されたものです。

教育委員会事務局は、他市では同会議の録音を認める事例があると述べながら「会議の時点での発言は、後日の議事録では訂正され

ます。建て替えて地域の「コミュニティ」の場としてほしいです。川崎区は海に近いので建て替



えの際には3階以上の建物にして災害時にも使える「コミュニティセンター」とすることが求められているのではないのでしょうか。

体育館の後にできた「カルツツかわさき」は料金が高く、利用の際の規制も多く不評です。市民は駅前地域だけでなく住宅地に近いところに安い料金で利用できる施設を希望しています。手作りで楽しめるホールや部屋があり、音だしや仲間と飲食できる場所がほし

ることもあるため、ネット中継等を認めれば議事録とは異なる『未成熟な情報』が回り市民を混乱させかねない」と説明しました。

片柳市議は、すでに市議会では本会議と常任委員会が公開されており、正式な議事録と「未成熟な情報」であるネット中継が両立しておりなんの混乱も起きていないと発言。「公開を原則とする」との情報公開条例の精神をふまえてネット中継に踏み出すべき、と趣旨採択を主張しました。

自民・公明・民進みらいの多数で陳情は「不採択」とされました。



いです。市民が憩える場所を増やしてほしいと切に願っています。市民の税金は、市民の要求のために使ってほしいと願っています。

#### 沖縄県―総力あげた子どもの貧困対策

1月23日、沖縄県庁で子どもの貧困対策を視察。沖縄県の子どもの貧困率は29.9%（全国約14%）。完全失業率は3.6%（全国5.4%）、非正規雇用者は38.2%（全国44.5%）などの状況のもと、ひとり親家庭などはダブルワークなどを余儀なくされ、子どもの生活リズムなども崩れがちです。

「本当は基地問題よりも子どもの貧困にこそ取り組むたい」という翁長県知事を先頭に「2030年までに貧困率10%に」をめざしています。

①学校にソーシャルワーカーを増員、②子どもの学びと育ちを行政が経済的に支える就学援助制度を手厚くし、さらにTV・ラジオCM、コンビニなど若い親の利用する場にチラシを置き周知、③子ども食堂・無料塾などへの支援、④企業や県民も巻き込む「沖縄子



制度を「知らない」人にチラシを作成

どもの未来県民会議」を通して給付型奨学金などの支援―など、真剣な取組みが始まっています。

川崎市でも、子どもの貧困対策の具体化が求められています。沖縄県の取組みを参考に、川崎でも頑張りたいと決意しました。

#### 那覇市―「性の多様性は人権」と「レインボー」な宣言

1月22日、那覇市でLGBT施策（同性愛・両性愛など性の多様性にかかわる施策）について視察してきました。那覇市は「人権」を中心にする「性の多様性を尊重する都市」なは「宣言を発表しました。また「年齢に関係なく集まれる場所がほしい」との当事者の声にこたえ「レインボー交流会」を開催。現在は参加者がつくった市民団体が主催しています。また戸籍上の性別が同じ2人の申請に基づく「パートナーシップ登録制度」等にも取り組んでいます。宿泊したパームロイヤルホテルの高倉直久総支配人からも「LGBTフレンドリー企業」としての取組みを伺いました。



パームロイヤルホテルのフロントには「レインボーシーサー」など当事者の方も利用しやすい工夫が

### 地域の声はよく聞かなくていい 議員はそうじゃない

先日「片柳進を囲むカラオケ大会」を開催していただきました。主催して頂いたOさんは「偶然通りかかった片柳さんにワンルームマンションのことを質問したら、次の日に答えを持ってきてくれた。地域の声にすぐ答えてくれるこういう議員はなかなかいない」と、20人近い参加者の方々に呼びかけてくれ、「カラオケ歌っていいよ」「期待してるよ」と楽しい交流のひとつを過ごせました。



### No. 32 片柳すすむ 日進月歩

自転車を走らせているときにOさんから「おい！あんな議員だろ?!」と突然声をかけられたときにはかなり驚きましたが、そんな縁が本当に嬉しいです。

宮原春夫前市議から「聞かれたことはすぐ調べてすぐ回答するのが大事」とアドバイスをいただきましたが、本当にそのとおりでした。これからも「すぐ回答」で頑張りたいと思います。